

★えんがる 議会だより



緑あざやか えんがる球技場完成！…………… P 2

平成28年度決算審査特別委員会

質疑白熱！！(決算審査質疑)…………… P 4

平成29年第6回定例会…………… P 8

一般質問…………… P 11

えんがるあるひとこと(広報特別委員会より)…………… P 20

がる球技場完成



新球技場
子どももハッスル！ハッスル！！

平成29年第6回町議会（定例会）

第6回定例会は、9月8日から14日まで開催し、会期中に平成28年度の決算について、決算審査特別委員会を設置して審査しました。

平成28年度の建設事業で大きなものは、えんがる球技場建設事業で、約8億7千万円を投じ完成しました。

※主な財源は起債とスポーツ振興くじの助成金を合わせて8億3千万円です。

ラグビーやサッカーの合宿誘致や各種大会等を通じた交流人口の増加による、地域の活性化に期待が寄せられています。

そのほかに、町内郵便局との「地域における協力に関する協定」締結などの行政報告、人事案件、表彰、条例改正、補正予算等を審議しました（関連記事8ページ）。

歳入

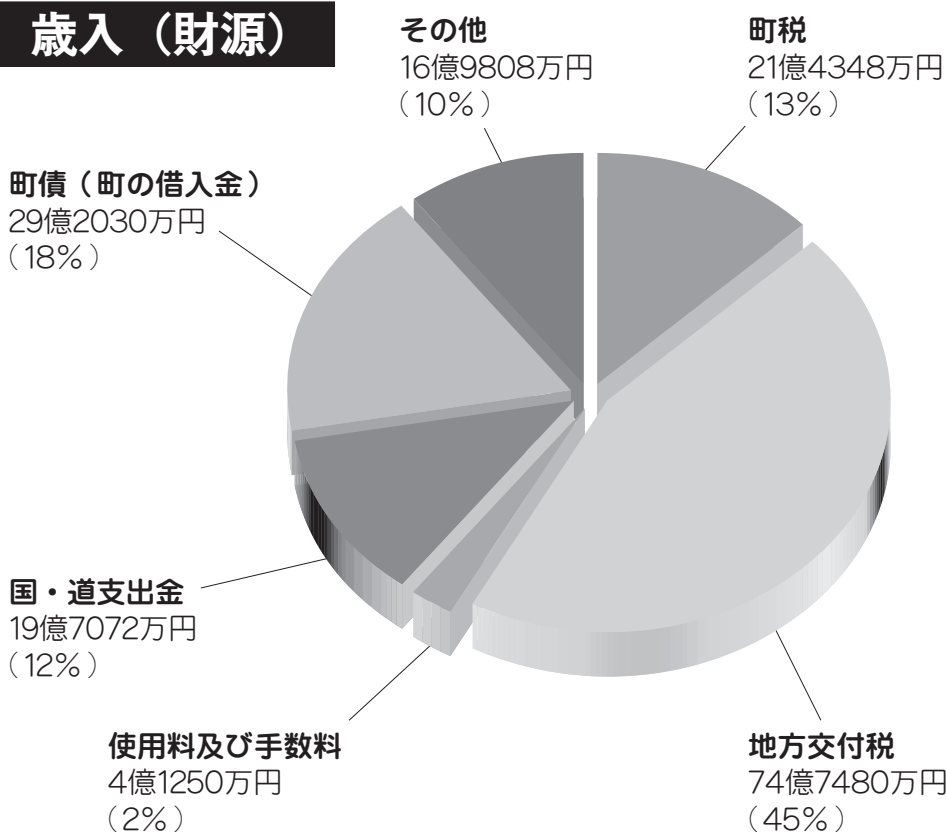
「一般会計」は、町の基本的な仕事をするための予算です。歳入とは皆さんから納めていただいた町税や国や道から入った町税や国や道から入った

「一般会計」は、町でくるお金のことです。町の事業を実施するのになくてはならない「財源」と呼ばれるものです。

平成28年度は前年度と

比較して約6億9千万円増加していますが、これは、建設事業費の増加に伴い、その財源である町債が約5億3千万円増額したことが主な要因です。

歳入（財源）

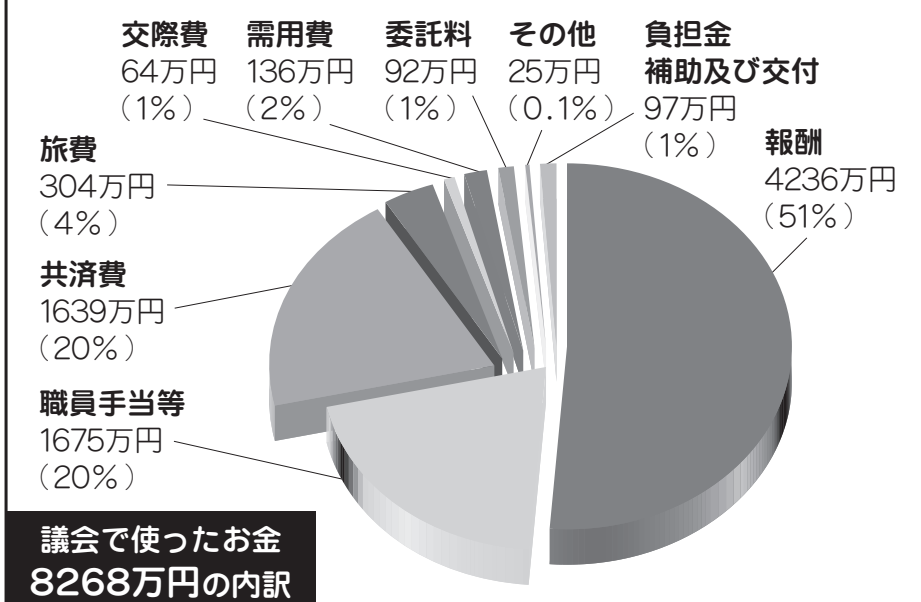


入ってきたお金
合計 166億1988万円

平成28年度決算審査特別委員会

緑あざやか! えん

議会費
議会費については、議会基本条例第12条第2項に基づき、公表するものです。
平成28年度は、前年議場音響設備の更新が完了したこと、議員数が減少したことにより2千4百万円減少しています。
そのほか、人件費や議会における審議結果である議事録の調製費用など、議会運営に必要な経費を支出しています。



歳出

歳出も前年度と比較して、減少了経費もありま
約5億6千万円増加して
おり、教育費と土木費を
合わせて約7億円増加し
みせば、えんがる球技
倍の決算となっています。

場建設事業、ふくろ団地
建設事業に伴うものです。
また、平成28年度は台
風災害もあり、災害復旧
費が約2億2千万円とな
り、前年度と比較し約7
倍の決算となっています。

歳出 (使い道)

公債費 (借入金の返済)
22億122万円
(14%)

災害復旧費
2億1908万円
(1%)

教育費
24億4246万円
(15%)

消防費
7億1998万円
(4%)

土木費
25億3310万円
(16%)

商工費
4億533万円
(3%)

農林水産業費
3億5122万円
(2%)

労働費
3813万円
(1%)

衛生費
14億9566万円
(9%)

総務費
29億1958万円
(18%)

民生費
25億8418万円
(16%)

**使ったお金
合計 159億9262万円**

質疑 白熱

決算審査は議長及び議会選出監査委員を除く全委員で構成された決算審査特別委員会（阿部君枝委員長）を設置して審議しました。



大会誘致に向けて整備を



今村則康

総務費
大会誘致事業
公共施設の整備計画は

大会誘致事業における公共施設の整備は、計画的に進められているか。（宿泊施設・トイレ・浴室）

企画課長
民間宿泊施設との兼ね合いもあり、慎重に状況を見極めながら必要に応じて整備を進めてまいります。



定住に向け魅力発信



竹中裕志

総務費
移住定住促進事業
魅力ある住環境を

本施設の稼働率が低いので、今後は「住んでみたい」と思える北国仕様の住環境等を整備するなど、立地条件や利便性を再考すべきでは。

企画課長
利用者のアンケート結果などを踏まえ、移住定住に資する魅力ある体験住宅の整備に努めます。



今後いかにあるべきか



黒坂貴行

総務費
紋別空港利用対策事業
利用促進と複便化の用途は

町外宿泊者に対する助成は、予定より下回ったが、インバウンド等を含め、複便化等、今後の対策は。

企画課長
引き続き遠紋地域が連携し、利用者増のための助成事業などに取組みます。



事業内容の見直しを



稲場仁子

総務費
エネルギー対策事業
省エネルギー住宅を助成対象に

年々利用者が減少しているのは残念です。良い制度なので、今後に向けたPRのあり方や、パッシブハウス（高断熱高気密の省エネルギー住宅）を助成対象に加えるなど、事業内容の見直しをすべきでは。

企画課長
新エネルギー・省エネルギー設備等の情報収集に努め、より効果的な補助制度を検討します。

平成28年度決算審査

なんぼ
かかってる？



ムダは
ないかい？

多くの町民で育ててきた



高橋義昭



太陽の丘公園のコスモスの開花状況は年々悪化しており、今年度は入園料徴収を見送る事態となったが、今後の対応は。

商工観光課長

関係機関や専門家等と原因・対策を協議し、改善に向けた対策を検討することになっております。

商工費

虹のひろば運営事業
コスモス園の今後は

教育費

国際交流センター管理運営事業
施設の利用促進を



稲場仁子



白滝地域での利活用を進めるとともに、埋蔵文化財センターと一体的な運営を図り、ジオパーク事業のさらなる展開・地域活性化を促進すべきではないか。

社会教育課長

集会施設としての機能を維持しつつ、有効的な活用方策を検討します。



バランス良い財政運営を

今村則康



地方債現在高は、平成17年から26年までは減少し、平成27年度から増加しているが、今後の見込みは。

財政課長

地方債現在高は大型事業の実施により、平成27年度末から平成31年度末頃まで増加する見込みです。

地方債

地方債現在高
地方債現在高について



竹中裕志



西町40号線踏切の近隣地区は一部に土砂災害のおそれがあり、災害時の避難通路等の確保が難しい地域である。今後の踏切拡幅の予定は。

建設課長

現在、JR北海道にて調査・設計を行っており、平成30年度に踏切拡幅工事を行う予定です。

土木費

道路新設改良事業
安心安全の踏切拡幅を

質疑



白熱

決算審査特別委員会審議
質疑 つづき

もったいなく
ないかい？



被害拡大防止を

松田良一



農林水産業費

鳥獣被害防止対策事業
地域間の連携による駆除を

エゾシカ駆除における各地域の捕獲頭数に差があるが、各地域間の連携により、捕獲頭数を増し、農作物などの被害を防ぐべきではないか。
農政林務課長 農政林務課長 狩猟友会には有害鳥獣捕獲にご尽力いただいておりますが、さらなる連携を深め、協力いただきながら農業被害対策を進めてまいります。



地域の宝をみがこう

佐藤 昇



商工費

物産振興事業
特産品開発補助の実績は

特産品開発がなかなか進んでいないが、町としてどのような働きかけを行ったのか。実際に担当への相談等はなかったのか。
商工観光課長 町広報、HP、各種団体への会合等でPRを行い、相談は7件ありました。申請にはいたりませんでした。



固定電話のあり方は

高橋義昭



商工費

観光施設等全般事項
町所有の電話、公衆電話について

携帯電話の普及により、町内観光施設等の電話、公衆電話の使用頻度が低下していると思われるが、整理する考えはないか。
商工観光課長 町内観光施設等の電話、公衆電話につきましては、使用頻度、必要性等を調査し、検討します。



憩いの場は必要

松田良一



民生費

老人憩いの家管理事業
「フースキング」を利用した憩いの場を

生田原安国の老人憩いの家における利用者の人数が少ないが、「フースキング」の無料券発行などの方法で、憩いの場を提供するべきではないか。
生田原総合支所長 利用者には配慮しながら今後施設のあり方を含め対応を検討します。

平成28年度決算審査

どんな
あんばい？



岩澤武征



民生費

児童館運営事業 指導員の増員を

児童館を利用する児童が増えて、支援が必要な子どもも参加している。
指導員が大変苦労しているので、対策を考えるべきでは。
子育て支援課長
児童に関わる人材が不足しておりますが、雇用形態を工夫し対応します。

ごみをダイエット



奥田 稔



衛生費

ごみ減量化対策事業 コンポストの貸与を

コンポストへの報償は年10個程度と少なく、ごみを減量化し、埋め立て地の延命を図るため、無償貸与を検討すべきでないか。
住民生活課長
利用促進のため広報等により周知を図り、引き続き助成します。



佐藤 昇



商工費

商工観光労政審議会事業 年1回の開催では不十分では

ここ数年来、年1回の開催にとどまっているが、特に観光に関する議論などをもっと深めていく必要があるのではないか。
商工観光課長
関係機関と協議の上、審議会で議論を深めていただくよう必要に応じ開催します。



秋元直樹



特別会計

個別排水処理事業 さらなる事業の推進を

平成28年度の予算では、浄化槽への設置30基を目標としていたが、決算では15基の設置に留まっている。
水洗化が進んでいない生田原、安国地域を中心に、さらなる周知拡大と事業の推進を。
住民生活課長
公共下水道事業計画区域以外の居住者に広報等により周知を図り、浄化槽の普及を進めています。

（仮称）えんがる町民センター

建設に向けて着々と

主な内容

補正予算

平成29年度一般会計補正予算（第3号）について主なものをお知らせします。

○地域拠点施設整備事業

992万円

※（仮称）えんがる町民センター関連

- ・外構工事等実施設計業務委託料

施設周辺の外構・道路の測量及び設計経費です。

- ・地中熱熱応答試験業務委託料

経費節減や、CO₂の排出抑制に取り組むため、地中熱による設備導入に係る熱応答試験経費です。

○民間社会福祉施設整備事業

3880万円

- ・有料老人ホーム建設事業補助金

社会福祉協議会が行うサービス付き老人ホーム建設事業補助金です。

○基金運営事業

171万円

- ・まちづくり振興基金積立金
- ・寄附者の意思に添い、目的の基金への積立です。

○上武利地区給水事業

1940万円

- ・地下水源開発調査業務委託料

地下水源確保のための調査に係る経費です。

- ・水質管理機器設置工事
- ・水質管理機器設置等の経費です。

○中学校備品購入事業

220万円

- ・教材購入費
- ・楽器購入費

指定寄附による丸瀬布中学校備品購入費です。

○スキー場管理運営事業

1068万円

- ・人工降雪機送水ポンプ改修工事

ロックバレースキー場人工降雪機送水ポンプ改修経費です。

幾重もの機器で浄化され、安全な水は供給される

安定したバーンを提供！



人事

◆人権擁護委員の推薦

平成29年9月30日をもって任期満了となる委員として

矢木 修氏

の推薦に同意しました。

◆農業委員会委員の任命

平成29年10月8日をもって任期満了となる委員18人の任命に同意しました。

【遠軽地域】

小野 人司氏
大河原 正一氏
岡田 一司氏
石丸 博雄氏

主な条例改正

◆遠軽町営住宅管理条例の一部改正

認知症等の方が行う事務手続きを軽減します。

◆遠軽町企業立地の促進

による産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正
上位法の一部改正に伴う町条例の一部改正です。

【生田原地域】

菅井 誠氏
菅井 徳氏
笹原 仁氏
石山 幸一氏
鈴木 和弘氏
鈴木 秀和氏
林 秀和氏

【丸瀬布地域】

中村 肇氏
新国 純一氏
梶田 政實氏
西原 弘子氏

【白滝地域】

須藤 智弘氏
上野 邦彦氏
原田 喜一郎氏
早川 剛司氏

..... 遠軽町から表彰される方

遠軽町表彰条例に基づき、次の方々を表彰することについて原案のとおり可決しました。

【自治功労】

住 所	氏 名	公 職 名	要 件
大通南2丁目	一宮 龍彦 氏	遠軽町遠軽町議会議員	・12年以上町議会議員の職にある方又はあった方
西町1丁目	岩澤 武征 氏	遠軽町遠軽町議会議員	・12年以上町議会議員の職にある方又はあった方
白滝889番地	奥田 稔 氏	遠軽町遠軽町議会議員	・12年以上町議会議員の職にある方又はあった方
岩見通南2丁目	黒坂 貴行 氏	遠軽町遠軽町議会議員	・12年以上町議会議員の職にある方又はあった方
生田原豊原	新国 純一 氏	遠軽町農業委員会委員	・12年以上農業委員会の職にある方又はあった方
生田原八重	西原 弘子 氏	遠軽町農業委員会委員	・12年以上農業委員会の職にある方又はあった方

【社会功労】

住 所	氏 名	寄附内容	要 件
西町2丁目	佐藤 智子 氏	50万円	・公共のため30万円以上の金品を寄附した個人

【消防功労】

住 所	氏 名	公 職 名	要 件
1条通南2丁目	野崎 克江 氏	遠軽町消防団員	・消防団員として20年以上勤続した方 (在職中)
生田原682番地	本田 典子 氏	遠軽町消防団員	
2条通北2丁目	松原 義幸 氏	遠軽町消防団員	
丸瀬布水谷町	能正 直樹 氏	遠軽町消防団員	
生田原安国	細矢 孝次 氏	遠軽町消防団員	
生田原安国	金子 堅二 氏	遠軽町消防団員	
2条通南1丁目	阿部 和夫 氏	遠軽町消防団員	
西町3丁目	斎藤 昌司 氏	遠軽町消防団員	
白滝976番地	佐藤 しのぶ 氏	遠軽町消防団員	
1条通南2丁目	吉村 和子 氏	遠軽町消防団員	

意見書

―国や道への意見書2件を提出―

議員提案により意見書案が提出され、いずれも可決し関係省庁等に送付しました。

「全国森林環境税」の創設に関する意見書
(提出者等 松田議員ほか3人)

平成29年度税制改正大綱において「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税(仮称)の創設」に
関し、「平成30年度税制改正において結論を得る」と明記された。

よって、森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。

(提出先) 衆・参両議院

議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣ほか

軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書(提出者等 佐藤議員ほか3人)

町内のスキー場においても、安全・安心なゲレンデを提供するため圧雪車等を使用しており、スキー場の経営維持に軽油引取税の免税措置は不可欠なものとなっている。

国においては、索道事業者等、幅広い産業への経営が圧迫され、地域経済を支えている産業の衰退を招くことのないよう、課税免除措置を継続するよう強く要望する。

(提出先) 衆・参両議院
議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣ほか

第5回臨時議会

オリンピックに向け、夢を紡ぐ

平成29年第5回臨時議会

平成29年第5回遠軽町議会(臨時会)は7月24日に開かれました。
冒頭、佐々木町長からの行政報告では、遠軽厚生病院産婦人科に、昨年8月に着任した産婦人科医師1人に続き、新たに産婦人科医師1人の赴任が決定した旨の報告があったほか(関連15ページ)、災害対策本部図上訓練の実施、JR石北本線存続に向けた要望活動等の報告がありました。

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ546万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ159億7862万円としました。

(主な歳出内訳)

○林業振興一般経費 250万円

・展示林活用業務委託料
東京オリンピックにゆかりの遠軽家庭学校敷地内にある展示林の2020東京大会への活用に向けた調査に係る経費です。(関連16ページ)

主な内容

補正予算

○中学校建設事業 189万円

・生田原中学校屋体ボイラー煙突改修工事
・安国中学校屋体ボイラー煙突改修工事
学校施設のアスベスト調査結果に伴う煙突改修工事に係る経費です。

工事請負契約

①契約事業者

②契約額

③予定工期

◎生田原5号線中央橋長寿命化工事

①三共後藤・佐藤特定JV(特定建設工事共同企業体)

②1億9904万円

③平成30年3月20日



未来への「種」となる

◆平成29年度遠軽町一般会計補正予算(第2号)

平成29年第6回町議会（定例会）一般質問

3人の議員が登壇し、多岐に渡り白熱した議論が展開されました。

一般質問

佐藤 昇 議員



問

ファーストガンダム復活をきっかけとしたまちおこしは

答

情報収集に努め検討したい

問

遠軽町出身の漫画家安彦良和氏によるファーストガンダム復活のための40周年大プロジェクトに向けて意欲を示す報道がなされました。

安彦氏は、遠軽町出身の著名人でもあり、昨年は遠軽高校等での講演を行った。遠軽高校が甲子園に出場した際には直筆のイラストを提供するなど、遠軽町に対しても好意的な取組みを進めていただいています。

(1)町としてプロジェクトに対して安彦氏と連携を取り「まちづくり、まちおこし」に活用するような考えはありませんか。

町長

(2)安彦氏をはじめとする遠軽町出身の著名人と協働しながら今後の「まちづくり」に生かしているような取組みを進める考えはありませんか。

(1)40周年を記念して、意欲を示しているとの報道だけでは現時点で質問にはつきりとお答えすることは難しいと判断します。

しかしながら、安彦氏が携わったアニメ「機動戦士ガンダム」は、多くのファンに長年愛され続けていくことから、話題性や注目度が高まることとが予想されます。

このことから、ご本人をはじめ著作権を管理している会社などへ報道内容の確認をするともに、今後プロジェクトが「まちづくり、まちおこし」に活用できるのかどうか情報収集に努めながら検討したいと考えます。

(2)町はこれまでも、本町出身のさまざまな分野で活躍されている方々との繋がりを大切にしながら各種講演会や、研修会、スポーツ教室などまちづくりに資する取組みを行ってきました。

本町出身の方の中には、芸術文化や、スポーツ分野に限らず、行政や経済

町長

過去にもガンダムロードのようなものがないか検討したこともありましたが、実現には至りませんでした。

色々なハードルもあると思いますが、町側で何かできるものがあり、町のPRに資するものがあるとなれば、繰り返しになりますが、情報収集に努めてさらに検討していきたいと思っています。

この看板を町で見かけませんか？

これも安彦氏デザインのものです。



一般質問

岩澤 武征 議員



問

子どもの通院医療費に助成を

答

生まれる前から高校まで一貫した子育て支援を考えている

ばならない時期にきていると考えますが、いかがですか。

町長

町全体の子育て支援として、生まれる前から高校まで一貫して考えております。

財源の話もあり、確かに今基金は増えてきています

ますが、大型事業も実施しており、これから償還も出てきます。

そういった意味で町としては比較的に人口の多い遠軽町ではなかなか踏み出せないでおります。

これからの子育て支援をさらに充実させなければならぬという私の考えもあります。やりましよう、なかなか今の時期に言い難いということもありますのでご理解願います。

問

新聞報道では、道内市町村の75%を超える自治体で、子どもの医療費の助成が行われています。小学生以上に対する独自の助成制度を導入している自治体は、136市町村になっています。

その背景にあるのは、

近隣の市町村の横ならび意識だと言われていますが、医療費の助成が子育て支援、少子化対策として有効であるという認識が広まってきたことが大きな理由と考えます。

本町でも、子育て世代の強い要望があります。

遠軽町は、さまざまな子ども・子育て支援事業

を実施していますが、さらに充実して、「子育てにやさしい町、安心して子育てできる町」だと町民の皆さんに安心してもらえるように、小学生以上の通院医療費の負担軽減策を実施すべきだと考えますが、町長の見解を伺います。

町長 子どもの医療費助成につきましては、8月23日付、北海道新聞報道のとおり、道内136市町村において独自の助成制度を実施しているところであって、遠軽町において中学生までの入院に

対する助成を拡充して実施していることも含まれています。

限りある自主財源の中で、赤ちゃんから高齢者まで広範囲にわたる行政サービスの求められていることから、中学生までの入院に対する助成を引き続き行います。

町長 2年前に作られた「遠軽町子ども・子育て支援事業計画」の中に、「家庭を取り巻く状況が変化している中、新しい支え合いの仕組みを構築する必要があります。」と述べています。

再問

さらに、「子どもの健全な育ちと保護者の子

育てを社会全体で支援する環境を整備することを目的とする。」と謳っています。

町のアンケートには、「小学1年から大人と同じ3割は厳しい。小さい子どもほど病気になりやすいので、もっと病院に連れていきやすくしてほしい。隣町は小学生の医療費も0円でうらやましい。」、「他のところは中学生まで無料とかあります。育児をするのに一番不満なことです。」という声があります。

遠軽町として、中学生までの医療費助成について、真剣に検討しなければ

町政を質す!!

一般質問

阿部 君枝 議員



問

近年、全国の自治体で子育て支援及び高齢者・障がい者支援の観点から紙おむつ専用のごみ袋の無料交付をする市町村が増えていきます。

同趣旨で、ごみ袋の交付を行っている道内自治体の例をあげますと、旭川市では10ℓ用300枚、千歳市では20ℓ用を最大300枚、札幌市は10ℓ用と20ℓ用のいずれか選択し、有料ごみ袋を無料交付しています。

また、北見市では本年6月から紙おむつ類の無料収集が始まりました。

本町においても、子育て及び高齢者・障がい者

問

紙おむつ類のごみ回収無料化をする考えは

答

総合的な経済負担軽減を図っているのでご理解を

支援への経済的な負担軽減の方策として、紙おむつ類の無料収集を行う考えはありませんか。

町長

オホーツク管内の乳幼児に対する紙おむつ類のごみ袋無料化の実施状況は、ごみ収集が無料の西興部村を除く17市区町村のうち7市町が実施しております。

遠軽町においては、予防接種等の助成や保健指導などの支援策を実施することにより経済的負担の軽減を図っています。

次に、高齢者・障がい者に対する紙おむつ類のごみ袋無料化の実施状況

ですが、ごみ収集が無料の西興部村を除く17市区町村のうち2市町が実施しています。

遠軽町では高齢者・障

がい者に対する経済的な負担軽減のため、在宅介護用品支給事業として要介護3以上の方又は3歳以上の重度心身障害の方を家庭で介護する家族に対し紙おむつの支給を行っておりますが、この事業に該当しない要介護1以上の方につきましては、遠軽町社会福祉協議会が独自に支給しております。

また、障害者日常生活用具給付事業として、同様にオムツ購入やストマ

装着の補助を実施することにより、経済的な負担軽減を図っておりますのでご理解をお願いします。

再問

隣の北見市より転入された子育て中のお母さんより「北見市は紙おむつが無料収集で助かっていました。遠軽町も実施しないのですか。」との声をいただきました。

紙おむつ類は、家庭で減量ができませんし、悪臭を放つため長時間家に置きたくない。回収日ごとに毎回捨てたい。

北見市の取り組みは、紙おむつ・布おむつ・紙パンツ・尿取りパット・

お尻ふきを紙おむつ類とし普通の半透明ごみ袋で「燃やすごみの日」に出す方法です。新ごみ焼却施設「えんがるクリーンセンター」の稼働と同時に実施する考えはありませんか。

町長

10月1日からごみ収集が変わりますので、そこには間に合わないのので、ご理解ください。

子育ての施策を考える



常任委員会

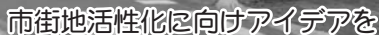
レポート 7月～9月

総務・文教

検討協議会で示された方向性
 かどうかといった施設に
 するべきか

現在、旧中央病院の解体工事が始まっており、工事は来年3月までを予

まちなかのにぎわいを創出
く（仮称）町民センターく
市街地活性化の好機に町民一丸
となってチャレンジ！



（仮称）「遠軽―C道の駅」駅長候補者採用決まる。

○氏 名 佐藤 茂 氏
○出身地 岩手県奥州市
佐藤氏は株式会社取
締役運営管理本部長、専
務取締役、総支配人等を
歴任。

そういったキャリアから町民及びオホーツク地域を訪れる皆様に末永く愛されるような施設となるよう、その手腕に期待を寄せている。

これら案件のほかにも、委員会を5回開催、案件26件について審議しました。

常任委員会

レポート 7月～9月

民生

さまざまな出産のケースに対応できる、医師3人体制の早期実現を目指す。

昨年8月に石川医師の常勤、11月出産開始に続き、遠軽地区地域医療対策会議（遠軽町、湧別町、佐呂間町で組織）の継続した活動が功を奏した。

8月に兵庫県尼崎市より遠軽町に転入し、9月1日から勤務開始。

常駐することとなった産婦人科医師は、鈴木尚子（たかこ）医師。

これにより、常勤医師が2人体制となり遠軽厚生病院からは従来からの出張医と協力し診療を充実させていくとの報告。

しかしながら、2人の医師体制では、これまでの3人体制に1人足りず、引き続き産婦人科医師の確保に向けて取り組むとともに、国に対し医療制度の抜本的な改革を訴えていく方針。

遠軽厚生病院は2次医療の大切な病院であり、

遠軽町民だけの問題ではない。

医師不足の根本である

制度の改正が重要で、引き続き地域医療を守るため議会としても協力する。

ようこそ鈴木医師

継続した取組み秋に実る

次の目標は医師3人体制を！



まちの「たから」をよろしくお願いします。

住み慣れた地域で生活を
有料老人ホーム建設事業補助金

高齢化が急速に進む中、可能な限り住み慣れた地域で生活できるよう、遠軽町社会福祉協議会で、在宅での生活に不安を抱えながらも特別養護老人ホームの入所対象とはならない高齢者を対象として、10部屋の居室と食堂、浴室などを備え、食事の提供や日常生活のお世話をするサービス付き有料老人ホームを、町内西町に建設。

本事業には、北海道の地域づくり総合交付金を活用し、北海道及び町の補助で建設する。

これら案件のほかに委員会を3回開催、案件18件について審議しました。

常 任 委 員 会

レポート 7月～9月

経 済

「1964東京オリンピック遠軽町展示林活用検討協議会」が歴史を後世に伝えるため、種子から苗を育てて展示林に植えるという「緑の循環」の具体的活動が決定。

「2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けた展示林活用の検討結果が示された。

7月臨時議会で試験伐採や種子採取のための経費を計上。

材質調査のための試験伐採と種子採取を、9月30日に実施。

種子の採取は、展示林の歴史を後世に残すべく、小学生など子どもを対象に、種子採取体験会とした。

展示林の活用に向けて、採取した種子は試験栽培し、2020年のオリンピッククイヤーに合わせて展示林における植樹祭などの実施につなげる考え。これら案件のほかに委員会を5回開催、案件26件について審議しました。



種を撒ぎ、苗を育て植林する

1964東京オリンピック遠軽町展示林の活用に向けて

2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた、独自の活用方針が示される

このほかの委員会の開催状況

■議会運営委員会
3回開催

○主な審議項目

・第5回遠軽町議会（臨時会）審議予定
・各会計決算審査要綱
・決算審査特別委員会の設置

・第6回遠軽町議会（定例会）審議予定

・陳情等の取扱い結果
・第6回遠軽町議会（定例会）追加議案

■常任委員長会議

・各会計決算審査要綱
・決算審査特別委員会委員長・副委員長互選

■広報特別委員会
3回開催

総務・文教常任委員会 所管施設調査実施

7月20日

総務・文教常任委員会では、次の各地域の施設を調査しました。

【視察のポイント】

- ① 災害復旧状況
- ② 昨年指摘事項確認
(生田原パークゴルフ場あずまや及びトイレ設置状況確認)
- ③ 旧中央病院周辺環境
- ④ その他施設の現況

○遠軽地域

- ・ 瀬戸瀬パークゴルフ場
- ・ 旧ふあーらいと

・旧中央病院周辺

- (意＝意見抜粋)
- ・ 意旧ふあーらいとは、町民センターと併せて有効活用を検討を。
- ・ 意周辺及びまちづくりの景観について検討を。

○生田原地域

- ・ 生田原パークゴルフ関連施設
- ・ ノースキング
- ・ ちゃちゃワールド
- ・ 意触ることができおもちやをさらに増加。



いこいの森で遊ぶ子どもを見守ってきた「ロボット」

経済常任委員会 所管施設調査実施

7月12日、13日

経済常任委員会では、次の各地域の施設を調査しました。

【視察のポイント】

- ① 災害復旧状況
- ② 安国浄水場等現況
- ③ 完成施設の状態



築19年を経過したちゃちゃワールド

○丸瀬布地域

- ・ マウレミュージアム
- ・ いこいの森
- ・ 意シンボルの遊具、愛称「ロボット」の再活用を(経済常任委員会でも同様の意見あり)。



重要なインフラ(ごみ焼却施設)



できたての「水」を試飲し安全な水道水の重要性を再認識

○遠軽地域

- ・ ごみ焼却施設建設
- ・ 東2線道路防雪柵
- ・ 麦乾燥調製貯蔵施設
- ・ えんがる球技場
- ・ ふくろ団地集会所
- ・ 意利用者が多いイベントの際は、近隣施設の相互利用の検討を。

○生田原地域

- ・ 安国浄水場
- ・ 安国配水池

○白滝地域

- ・ 上支湧別幹線10線橋

○丸瀬布地域

- ・ 武利橋災害復旧工事
- ・ いこいの森災害復旧工事
- ・ マウレミュージアム(旧武利小学校改修)



交流人口の増加に期待する

1年間の活動を報告 常任委員会

所管事務調査報告

平成28年第4回遠軽町議会（定例会）で承認を得た所管事務調査について、総務・文教、民生、経済の各常任委員会から報告がありました。内容の一部を要約してお知らせします。

（議会ホームページに全文掲載しております。
<http://engaru.jp/gikai/>）

総務・文教

1 条例に関する事項

- (1) 条例・規則の見直し
自治立法の具現化を目指し、法務の充実・強化。
- (2) 分権条例の広報公聴
町民と協働してまちづくりを進めるための広報公聴を。
- (3) 子どもの権利条例
子どもの権利を守るため早期制定を。

2 財産管理に関する事項

- (1) 公共施設の適正管理
公共施設等総合管理計画に基づき検討を。
 - (2) 未利用財産等の管理
景観保全、環境美化のため、さらなる管理を。
 - (3) 未処理用地
所有権移転等処理し、引き続き財産台帳に登載を。
- ##### 3 行財政に関する事項
- (1) 財政健全化
財政計画に沿った自治体運営を。



オホーツクの玄関口として

(2) 行政評価

より一層、町民へ分かりやすい説明を。

4 事務執行に関する事項

- (1) 定員管理の適正化
第2次遠軽町定員管理適正化計画に基づいた取り組みを。

(2) 人材の育成

- 法制執務を研修に取り入れ、人材育成を。
- (3) 組織機構の改革
地域の実情も踏まえた効率的な組織機構を。

(4) 空家等対策の推進に関する特別措置法の施行に伴う体制の整備を。

- (5) 町の花、木、石、魚及び蝶の制定に係る周知
さらなる町民周知を。

5 学校教育に関する事項

- (1) 教育施設の整備・充実
計画的整備に努め、学校統廃合を見据え改善を。
- (2) 給食食材の調達
地産地消の推進に努め、食育の推進を。

(3) 小中学校のネット環境に対する安全対策

6 社会教育及び文化に関する事項

- (1) 生涯学習
拠点となる施設の整備を。



歴史的にも遠軽町は交通の要

(2) 図書館事業

- 利用者ニーズに配慮し、開閉館の見直しを。

(3) (仮称) えんがる町民センター等

- 町民との合意形成に努め、周辺環境にも配慮を。

7 社会体育及び健康づくりに関する事項

- 体育施設の整備
合宿誘致のために施設の整備・充実を。

8 その他に関する事項

- (1) 総合計画の推進
- (2) 陸上自衛隊遠軽駐屯地等の増強・存続
- (3) 公共交通体系の総合的検討
- (4) 石北線の存続について
- (5) 白滝ジオパークの推進について

民生

1 社会福祉に関する事項

- (1) ひとり暮らし、高齢者世帯等の支援
地域で暮らし続けられるよう、包括支援センターの充実を。
- (2) 高齢者福祉
地域住民の見守り、高齢者の交流の促進を。

(3) 障がい者が安心して生活できる地域社会

- 安心して生活できる地域社会実現に向けサービスの提供、地域生活への移行支援を。

(4) 社会福祉事業者との連携

- (5) 子ども・子育て支援
子ども子育て会議委員と協議し事業実施を。

2 保健衛生に関する事項

- (1) 介護保険制度
医療・福祉等関係機関と連携し、介護サービスの向上を。
 - (2) 地域医療体制
医療の充実、医師確保に向け、財政支援等の検討を。
- ##### 3 環境衛生に関する事項



皆で協力して最終処分場の延命を

経 済

1 農業及び林業に関する事項

(1) 農畜産業の振興
新規就農者、担い手の育成確保等に取組み、農業振興策の推進を。

(2) 農畜産物の振興
6次産業化に向け支援し、産業振興の推進を。

(3) 林業・林産業
地域材利用推進方針に沿った森林整備を強化し、林業生産の振興を。

(4) 間伐材の有効利用
(5) 民有林の整備
2 商工業及び観光産業に関する事項

(1) 商工業の振興
起業推進対策等を検討し、特産品の開発促進を。

(2) 商店街の活性化
(3) 観光産業の振興
イベントの充実に努め、観光客誘致促進などの施策の推進を。

(4) 消費及び労政に関する事項
(1) 消費対策
地場産品のPR並びに消費拡大及び地販地消を。

(2) 消費者被害防止対策
(3) 就労対策
失業者や季節労働者に対する雇用対策の拡大を。

6 車両管理に関する事項
(2) 公共施設の修繕
住環境へ考慮を。

5 公営住宅及び建築に関する事項
(1) 住宅建設
遠軽町営住宅長寿命化計画に基づき各地域の

(3) 河川
(2) 除排水雪
計画的な道路整備を。

(1) 町道
(2) 下水道処理区域
下水事業の普及促進し、未整備地区は計画的な整備を。

9 水道事業に関する事項
(1) 施設管理
施設整備と水源周辺の安全及び水質管理を。

(2) 水道管の更新
水道ビジョンに基づき計画的な更新を。

(1) 公共下水道の経営
(2) 下水道処理区域
下水事業の普及促進し、未整備地区は計画的な整備を。

8 公共下水道事業に関する事項
(1) 公共下水道の経営
(2) 下水道処理区域
下水事業の普及促進し、未整備地区は計画的な整備を。

7 都市計画に関する事項
都市計画マスタープランを推進し、総合的・計画的なまちづくりを。

(1) 車両の管理
(2) 町営バス事業
利便性を考慮した運行体制の整備を。

(1) 車両の管理
(2) 町営バス事業
利便性を考慮した運行体制の整備を。



議会を傍聴してみませんか？

定例会は、年4回（3月・6月・9月・12月）、臨時会は必要に応じて随時開かれます。

今、どのようなことを話し合い、決めているのか。

子や孫の未来はどうなるのか。

その答えはここにあります。



見てますか！

「議会だより」

この4年間、議会の様子を伝えるために、毎回悩み半分、楽しみ半分で取り組んできました。

皆さんに「議会だより」を手にとっていたために、より分かりやすい表現は？見やすい構成は？と頭を寄せ合いました。

「広報」の役割は「町

の課題を提供し、行政のチェックをするための素材を提供する。」ことにありますが、どの程度近づけたのでしょうか。

見出し、字体、写真やグラフの効果的な使い方、さらには、独自の取材による特集、事業の追跡、住民参加の紙面作りなど研究の余地はまだあります。次期の広報委員の皆さんに期待しています。

議会だより

込めた思い

「議会だよりをいかに読んでもらうか。」インパクトのある見出し、イラスト入りでの予算、決算の質疑応答の紹介が、議会に少しでも関心を持っていただけたか。

巻末の企画「えんがある話」では、少しでも農林業のことを知ってもらいたく、元気に活動している人たちにスポットを当ててきま

した。女性の活力でそれぞれの地域を元気にしている「きらめく翼」の皆さん、林業現場の「居心地良い」思いを語ってくれた方、家族の危機を「地域の皆さんの協力、家族の支えで今日の牧場がある。」と語ってくれた方、新規就農で地域農業に活力を与えている方など。

皆さんご協力ありがとうございました。

松田副委員長



秋元委員



岩澤委員長



佐藤委員



えんがある
ひとつと

皆で知恵を絞る

楽しさを実感

新人議員の登竜門と言われる議会広報委員会。どういうふうに作れば良いのか最初とまどいもありました。

しかし、任期の最初の年に参加した広報研修会は本当に参考になりました。基本的なことですが、「町民の皆さんに読んでいただくには、まず見出しで惹きつけること。」「読み

たくなるような見出しにすること、単に数字の羅列ではダメ。」ということでした。

それ以降、委員全員で見出しを真剣に考え、タイムリーな見出しができあがった時の満足感は忘れられません（もちろん中身はもっと重要ですが）。親しまれやすく、読みやすい、そんな議会だよりになるよう今後

若い人にも見ていただけるようなわかりやすい広報を

4年間議会広報作りを携わらせていただきまして、私自身も大変勉強になりました。今の若い世代の方々は、私も含めてですが、活字に触れる機会が少なくなってきたと感じています。特に意識して取り組んできたことは、文字数をできるだけ少なく

して、簡潔明瞭に町民の皆様に情報を伝えることや、ページをめくったときに写真やキャッチコピーで目を引くような紙面づくりです。この4年間の活動において他の3人の委員と取り組んできたことが、少しでも若い世代の方々の議会への興味に繋がっていただければ幸いです。4年間お世話になりました。

編集後記

丸瀬布昆虫生態館20周年記念事業のゲストとして俳優の哀川翔さんが来町しました。

昆虫生態館との「縁」は、映画撮影がきっかけで哀川さんが寄贈したカブトムシによる「アニキの森」の展示は同館の人氣コーナーです。

芸名である哀川翔の由来は、ご本人が好きな言葉の「哀しみは川に流れて翔べ。」から漢字を取ってつけたそうです。

豪快なイメージの哀川さんですが、男気あふれる優しさの根源はここかもしれない。

当委員会として最後の表紙に花を添えていただいたのも、ここからくる「縁」だと感じました。

広報特別委員会

委員長 岩澤 武征
副委員長 松田 良一
委員 佐藤 昇
委員 秋元 直樹